



# TOKYO 2020

**NESAに基づく機器発注 第13回**

# 第13回発注の概要

**NESAに基づき、2019年12月13日の経営会議で承認されたネットワーク機器の追加調達分を発注する。**

## □ 調達内容

- TEAP・Overlay Bookの精度向上、及びそれを用いたNTTによる会場ネットワークの実施設計の進展を受け以下を発注する。
  - ① **屋外用アクセスポイント**：設置諸室が屋内から屋外に変更があった、水滴での故障を考慮し屋外APに変更した事による追加
  - ② **SFPモジュール**：構成変更による追加
  - ③ **追加発注機器のキitting、およびキitting管理費、撤収作業**

## □ 機器のリース期間

- 2021年7月※～2021年9月 (3ヶ月)  
※発注後、納期を前倒しできた場合は6月リース開始とする。

## □ 補足

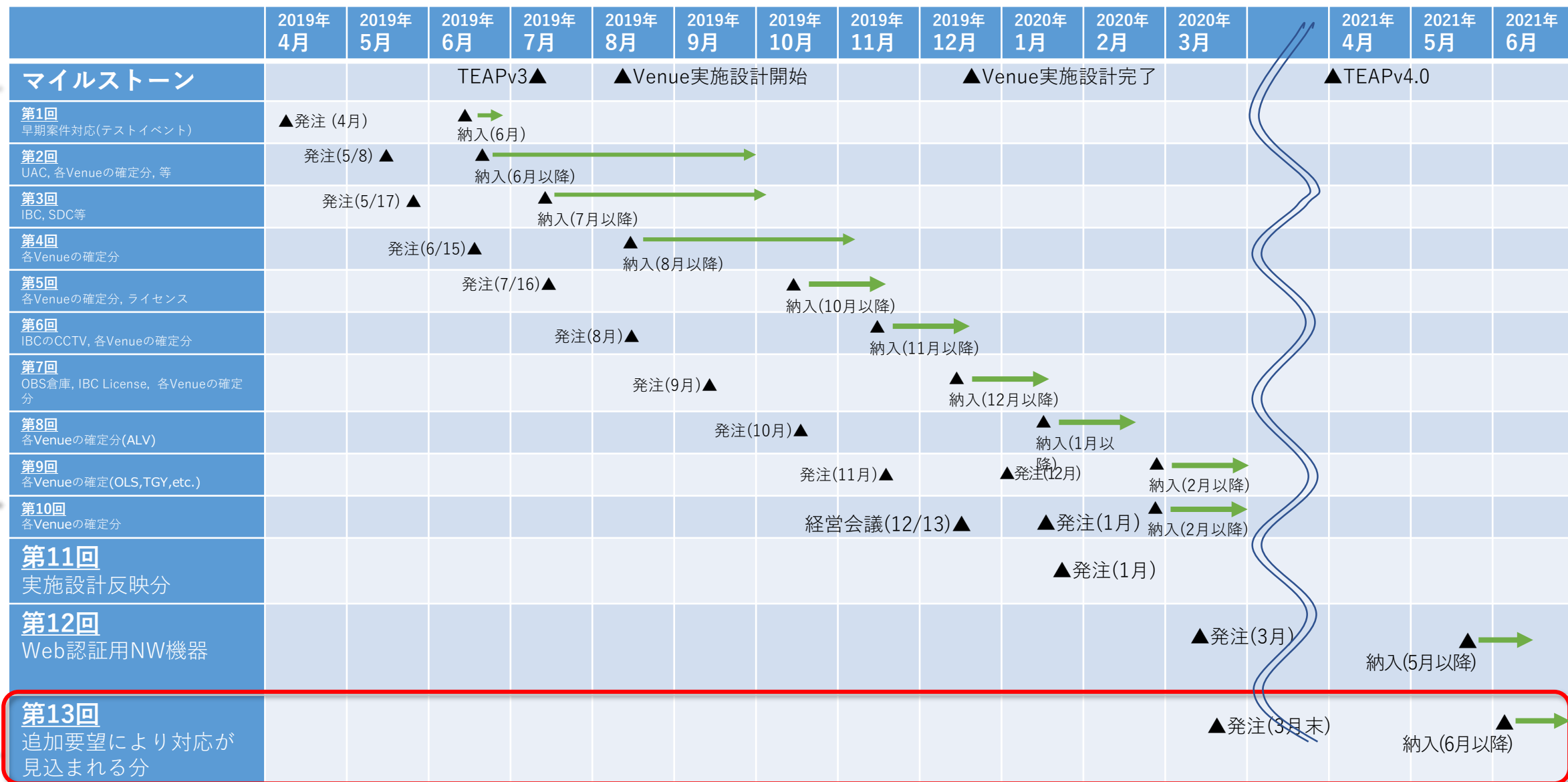
- 本ネットワーク機器は、大会終了後は利用しないためリース期間は2021/9末までとする。

# スケジュール

□ 今回の対象

最低発注分

追加分



# 屋外用AP追加調達について

## □追加の目的

- 会場設計が変更され、AP設置場所の屋根が構築されない、テントなどの屋外諸室になったため
- 屋根はあるが雨が降りこむ、湿気などの影響での故障を考慮し、屋外APに変更する必要があるため

## □修正方針

- 屋外APに設計変更した屋内APは、TEAPv4.5での追加要求に充当する。
  - TEAPv4以降、追加が必要（VTO, VSCCなど、コントラクタ用、都とのリエゾン用）
- 屋内APの余りは各会場に配分し予備品として扱う。